

分野	品格あるくまもと	戦略	誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造
		重点的に取り組む施策	くまもとの文化の創造と継承、発展

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
1	鞠智城整備事業	66,571 42,847	現在、第2次鞠智城跡保存整備基本計画に基づく発掘・整備事業を着実に実施している。また、鞠智城跡の特別史跡指定に向けて、一層の知名度向上及び歴史的・文化的価値を広く学界へ周知する。さらに山鹿市・菊池市が主催する古代山城サミットを支援する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・鞠智城・温故創生館入館者 約10万8千人/年 ・鞠智城東京シンポジウムの開催 参加者 約600人 ・平城遷都1300年祭の鞠智城ブース出展 来場者 約4,600人 ・世界大百済典への出展 ・国民文化祭おかやま及び九州歴史資料館への出土遺物出展  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・鞠智城跡の特別史跡指定へ向けて、これまでの発掘調査の成果をまとめる「総合報告書」の刊行と併せて、保存整備事業をまとめる「整備報告書」を作成作業を行う。
	教育庁文化課	47,082		
2	鞠智城国営公園化PR事業（H22は「鞠智城地域活性化策PR事業」）	17,665 17,665	鞠智城の歴史的価値の認知度及び全国的な知名度を向上させるため、シンポジウムの開催や博物館等での出展、ころう君を活用したPR活動などを行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・平城遷都1300年祭、韓国大百済典、九州歴史博物館等での出展、東京シンポジウム等を開催し、知名度や認知度の向上につなげた。  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・第2回古代山城サミットを山鹿菊池で開催する好機に恵まれたので、烽火リレーや古代山城シンポジウムを開催し全国的なPRを展開する。また今後とも促進期成会や議員連盟と連携し、引き続き認知度や知名度の向上に取り組む。
	都市計画課	27,500		
3	鞠智城公園計画調査事業	31,400 31,400	鞠智城の本体と周辺の史跡等をゆるやかに連携させながら、古代山城群を代表する全国的にも例の無い公園の整備計画を策定する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・国営公園化につなげるため、公園計画検討委員会を設置して、鞠智城大規模歴史公園整備計画の策定を進め、平成22年10月にはその基本コンセプトを公表した。  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・特別史跡の指定後速やかに国営公園化が実現できるよう、国営公園にふさわしい公園計画となるよう熟度を高めていく。
	都市計画課	31,400		
4	文化財広域連携推進事業	2,460 2,176	広域にわたり分布する文化財の価値付けや「歴史回廊くまもと」の素材となる新たな文化財の指定等を推進	平成22年度の取組みの実績、成果 ・モデル地域を人吉・球磨地域に設定し、同地域の特徴である古社寺のリストを作成し、うち未調査の10件について、熊本大学への委託による学術調査（実測・調査所見）を行った。その結果、文化財の指定や登録を進めるための基礎的な条件整備が進んだ。 ・リストにある古社寺65件（105棟）について、過去調査時（20年前）からの変化、破損状況、修理の緊急度等、現時点の状況を把握した。その結果、所有者等関係者の文化財の価値の再認識、保存修理への意欲等、意識の高まりがみられた。 ・市町村の文化財担当者が一堂に会し、管内の社寺建造物等の保存・活用について、予備的な協議を行った。  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・初年度の調査の補足作業（5件程度の社寺）と、前年度の調査成果を含めた報告書作成を行う。 ・調査成果をもとに、文化財の指定・登録を進めることを検討。国の登録有形文化財制度は、文化財の価値の周知度が高く、かつ活用を前提とし規制が緩やかなため積極的な活用を検討する。 ・人吉・球磨地域の文化財関係者が、有識者の協力のもと、古社寺等建造物の保存・活用策を協議し、かつ今後の連携の方向性について検討を行う。
	教育庁文化課	1,179		
5	世界文化遺産登録推進事業	25,331 22,223	『阿蘇』、『九州・山口の近代化産業遺産群（旧万田坑、三角西港）』、『天草のキリスト教関連遺産』の世界文化遺産登録を推進	平成22年度の取組みの実績、成果 ・世界遺産登録の条件整備となる文化財国指定に向け、構成資産の学術的検討を行う専門家委員会を開催し、学術的調査や保存管理計画策定を推進。また、県民向けのツアーや学校教育の展開など住民理解の推進を図った。  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・3つの資産について、世界文化遺産登録の条件整備となる文化財国指定のための、学術調査や保存管理計画の策定作業を引き続き推進する。
	文化企画課	37,078		
6	阿蘇草原維持再生調査事業		『阿蘇草原再生協議会』等の活動との整合を図りつつ、草原の維持管理を永続的に行えるような仕組みづくりの検討。 ・草原の維持管理を担う関係者の状況等の調査を踏まえた施策構築の検討等	平成22年度の取組みの実績、成果 ・庁内の関係所属により、ワーキングチームを設置し、現状、課題等を整理するとともに、来年度以降の取組みの方向性等を協議。  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・阿蘇の草原を将来にわたって維持していくため、「阿蘇草原再生協議会」や「公益財団法人阿蘇グリーンストック」などの活動と整合を図りつつ、草原の維持管理を永続的に行えるような新たな官民の仕組みづくりが必要。
	企画課	5,000		

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
7	細川コレクション 永青文庫推進事業 (H22は「永青文庫 推進事業」)  教育庁 文化課	99,019  95,381  82,428	熊本県の芸術文化や観光振興に 寄与することを目的として、公益 財団法人永青文庫が所蔵する美術 品等の一部を熊本県立美術館永青 文庫展示室に常設展示するととも に、展覧会への活用を目的とした 調査事業、修復事業を行う。また、 啓発事業(講座・ワーク ショップ等)や広報事業を通し て、県内外に永青文庫の周知を図 る。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・九州新幹線開業記念「細川コレクション永青文庫の至宝展」ほか年4回の 展覧会を開催し、県内外から約3万人の来館者があり好評を得た。 ・永青文庫寄託品の「帝鑑図屏風」・「狩獵図」の修復、及び屏 風、掛軸の修復発注(H22-H23)を行った。 ・永青文庫預かり品の調査研究(国庫補助事業)を実施し、武器武 具類の約90%の精査が完了した。 ・永青文庫周知のための「講座細川コレクション」を講堂で6回実施 し、600名以上が聴講し好評を得た。  事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・熊本城エリアにある各文化施設とも連携を図りながら、魅力的な 展示テーマにより、県内外に展示内容についての広報活動を展開し ていく。 ・熊本大学永青文庫研究センターとの連携を図りながら魅力ある展 覧会の企画や、永青文庫への興味を更に深めるため定期的な講座や イベントを実施する。
8	県立劇場管理運営事業   文化企画課	378,735  378,071  367,765	舞台芸術を中心とした芸術文化 の振興を図るため、指定管理者制 度による熊本県立劇場の施設の管 理運営(指定管理者:(財)熊本県 立劇場)を行うとともに、県と指 定管理者共同により文化事業を企 画・実施する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・第2期指定管理の2年目として、利用者に対するサービスの向上 と県立劇場の利用促進に努めたが、文化事業参加者数は目標数値を 上回ったものの、建物改修に伴う休館等の影響もあり入場者数、コン サートホール及び演劇ホール利用率は目標数値を下回る結果とな った。 平成22年度入場者 目標512,000人 実績500,456人 文化事業参加者 目標32,000人 実績36,669人 コンサートホール利用率 目標73% 実績72.5% 演劇ホール利用率 目標83% 実績79.1%  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・第2期指定管理の3年目として、施設及び設備の安全・快適な利 用の提供等指定管理者によるサービスの向上等に努めるとともに、 県立劇場文化事業を核として熊本文化の向上と情報発信を図る。
9	熊本県芸術文化祭推進 事業  文化企画課	11,100  10,489  5,300	本県の芸術文化の振興を図るた め、文化団体との協働による熊本 県芸術文化祭を開催する。(9月 ~12月) オープニングステージでは、熊 本の豊かな「水」、様々な生命を つなぐ水をテーマに、「音楽~舞 台芸術」と「美術~造形芸術」 の関係者の協働・共演する機会を 設定し、県民が舞台芸術を身近に感 じ、体験する機会を提供する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・参加事業182事業 ・参加人員 約27万人 ・オープニングステージでは、演劇「メランコリーの予感」、「上 通物語」の公演を実施。取組の経緯がTV番組として取り上げられ る等高い評価を得た。  事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・H23年度は「水(命)」、24年度は「火(心・情熱)」、2 5年度は「山(大地、伝統文化)」26年度は「森(歴史)」を テーマに創作舞台と舞台美術との融合を進める取組みを行う。
10	博物館関係資料活用・ 学習支援事業  文化企画課	14,031  13,035  13,501	新しい時代を切り拓く独創性と 個性をもった人材を育成すると ともに、熊本県の自然や文化を次世代 に引き継いでいくため、自然観察 会等のフィールドミュージアムや 企画展示、移動体験教室等の県民 参加の博物館活動を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・県内各地でのフィールドミュージアムの開催や他の博物館等と連 携した企画展示などの博物館活動を行うことにより、前年を上回る 参加者があった。  事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・松橋収蔵庫での博物館活動が県民に広く周知されていないため、 広報や情報発信の充実強化を図る。
11	元気な高齢者によるく まもと文化の継承と発 信  文化企画課	1,727  1,015  1,368	高齢者を対象に、身近な自然・ 文化資源を調査研究する地域の リーダーとなり得る人材を育成す る講座(自然・伝承文化・歴史の 3分野)を実施し、講座修了者を 「くまもと自然と文化の学芸員」 として認定する。また、受講者の 調査結果を県内外へ熊本の自然・ 文化資源の情報として発信する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・自然分野12回、伝承文化分野9回、歴史分野9回の養成講座を 実施し、自然33名、伝承文化4名、歴史分野21名、合計58名 (実数55名)を「くまもと自然と文化の学芸員」として認定し た。  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・受講者の知識・経験等の差が大きいため、講座内容の調整が必 要。 ・認定者が各地域で情報発信や活動できるようフォローアップを行 う。
12	地域づくり“夢チャ レンジ”推進事業(の 一部「文化de地域の 元気づくりプロジェク ト」)  企画課	-  -  300,000 の一部	地域文化のもつ力を引き出し、 文化による地域活性化を促進す るため、市町村や文化団体による文 化事業を支援するとともに、「加 藤・細川400年の歴史と文化」 に代表される「くまもとの文化」 を情報発信する。	平成22年度の取組みの実績、成果 -  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・市町村や文化団体等に働きかけ、地域活性化につながる文化事業 の積極的な掘り起こしを行う。 ・「加藤・細川400年の歴史と文化」の保存と活用事業として取り 組む具体的な事業の特定、県民参加の仕組みづくりを行う。